

あみだぶつによらいりゅうぞう
阿弥陀仏如来立像



△阿弥陀仏如来立像

本像は、木造の阿弥陀如来像で寄木造である。

長い間の香の煙等で全体が黒くなっているが、像からは格調高いものが伝わってくる。
光背は舟形光の透かし彫りで、頭光は円光である。

印相は、左手が与願印^{よがんいん}、右手が施無畏印^{せむゐいん}である。

本像は現在も関沢の人々の篤い信仰を集めており、飯山市域の村の阿弥陀信仰を知る上で貴重な作例である。